

2014年5月22日

## 第18回世界半導体会議（WSC）の開催および結果について

一般社団法人 電子情報技術産業協会

本日、チャイニーズタイペイ 台北において、世界の半導体企業の最高経営責任者（CEO）クラスの参加による世界半導体会議（WSC: World Semiconductor Council、以下、WSC）を開催しました。

WSC は、日本、欧州、米国、韓国、チャイニーズタイペイ、中国の6極の半導体企業および半導体工業会で構成されています。今回の主催国はチャイニーズタイペイであり、議長はチャイニーズタイペイ半導体工業会を代表して Etron 社 CEO 兼チェアマン Nicky Lu 氏が務めました。日本からは、JEITA 半導体部会・部会長である株式会社 東芝 常任顧問 齋藤 昇三氏をはじめ、ルネサスエレクトロニクス株式会社 代表取締役社長兼 COO 鶴丸 哲哉氏、富士通セミコンダクター株式会社 執行役員副社長 八木 春良氏の3名が参加しました。

## 1. 新しい半導体製品（MCO）の普及・促進

半導体製品は、絶え間ない技術革新により、新しい機能を集積した新製品を次々と生み出し、その範囲を拡大しています。WSC は過去7年に渡り、この新製品「MCO:IC と一般電子部品や半導体素子を組み合わせたマルチ・コンポーネント IC」を広く普及させるため、無関税化に向けた取り組みを行ってきました。現在中断している情報技術協定（Information Technology Agreement、以下 ITA）の拡大交渉のなかで議論されています。今回の WSC では、ITA 拡大交渉の再開に向け、5月17、18日に中国 青島で行われた APEC 貿易大臣会合の結果の情報共有、さらには11月の APEC 首脳会議に向けた産業界からのレター送付などの具体的な働きかけについて合意しました。

## 2. 環境対策

化学物質規制についてはナノマテリアルの懸念が示されていますが、今回の会議においては半導体工業会のみで解決できる課題ではなく、政府当局に対して化学物質のリスクを解明するための研究体制への支援について要望の提案が合意されました。2013年は2001年に比較し、電力消費は生産面積原単位で33%の減少となっていますが、ここ数年は横ばいとなっています。

## 3. 成長イニシアティブ

今回、半導体産業の成長側面（自動車分野、エネルギー分野、健康分野）に焦点をあて、今後の成長の促進につながるような課題について活発な議論を繰り広げました。今後も議論を継続的に行って行きます。

## 4. 知的財産権の保護：

実用新案は、各国でさまざまな法制度のもとで審査や権利化対象、特許性、権利主張などについて異なる運用がなされていますが、WSC は、各国実用新案法について国際的調和を求める提言をまとめました。また、営業秘密の効果的な保護について、貿易協定や国内法の整備を通して実現するよう要望をまとめました。パテントトロールと呼ばれている一部企業が特許権の法的な乱用（特許訴訟など）を行っていますが、これらの特許権の法的乱用の規制についても、WSC は特許訴訟手続きの改善や悪意ある要求書の抑制などの提案をまとめました。更に特許の質について、WSC は世界知的所有権機関（WIPO）と協力を進めております。

## 5. 暗号認証

本年10月、GAMS（福岡）で併催される暗号認証セミナーのアジェンダについて議論しました。このセミナーにおいては6極の関係者が一堂に会して議論する計画であり、強い期待をもって進めています。

## 6. 税関課題

半導体の円滑な貿易を達成すべく、WTO での貿易円滑化協定の締結が実現する様、求めていくことを確認しました。今後、新しいタイプの半導体も視野に入れ、将来の関税分類の見直しも念頭に置いて検討を進めることに合意しました。

## 7. 半導体製品の模倣品対策

WSC はこれまで、半導体模倣品に対して、その危険性を広く知らせるよう取り組んできました。今年は、WSC の反模倣品活動を白書にまとめて国際機関へ提示し協力提案などを行っています。また、日本が主体となり反模倣品ポスターを作成し、各国（日本、米国、欧州、韓国、中国、チャイニーズ台北）の展示会やセミナーで掲示しました。

## 8. マーケット

半導体市場は2013年3060億ドルの売り上げとなり、初めて3000億ドルを超えました。

2013年は通信、自動車の分野で市場が伸びていることが確認しました。また、地域としてはアジア、太平洋の地域が伸びていることを確認しました。

以上に加えてWSC は、輸出入規制、貿易円滑化、紛争鉱物、OECD BEPS など、世界的な貿易を前提としている半導体産業の成長を阻害する可能性のある種々の規則の動向に大きな関心を持っています。

WSC は、関税障壁の撤廃、自由貿易の促進が半導体産業に多大な影響があることを認識しており、ITA の推進について、各国政府及び世界貿易機関(WTO: World Trade Organization)へ働きかけています。

WSC では、今回の結果として共同声明（英文）を採択し、追って、Web サイト

(<http://www.semiconductorcouncil.org/wsc/>) に掲載します。

次回は、2015年5月に中華人民共和国にて開催予定です。

以上

(参考)

■WSC: 1996年8月の日米半導体協定の終結を受けて、既にグローバル化していた半導体のビジネスを反映して、多極の場で世界の半導体業界の共通問題について協議することが必要との認識に基づき、日米業界でWSC の設立に合意、1997年4月に日米欧韓の半導体業界が参加してWSC の最初のミーティングをハワイで開催、今回で18回目となる。

WSC の Web サイト: <http://www.semiconductorcouncil.org/wsc/>